

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6月までに予定していた講座と体験講座⑤「やってみよう! 拓本体験」(8月2日)を中止することとなりました。ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。予定している下記の講座も状況によっては中止になる場合がございます。最新情報は博物館HPをご確認ください。

歴史講座 13:30~15:00

講座番号② 「安政南海地震の古文書を読み解く」 令和元年度後期延期分
日 時:7月4日(土)
講 師:井上 淳(当館学芸課長)

講座番号③ 「戦時下の少年・少女たち -テーマ展のみどころ-」
日 時:7月19日(日)
講 師:平井 誠(当館専門学芸員)

講座番号④ 「紫式部日記を読む -源氏物語が成立したころの紫式部-」
日 時:7月25日(土)
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

講座番号⑤ 「戦争と若者たち -防空監視隊のすがた-」
日 時:8月22日(土)
講 師:多田 仁氏(伊予史談会常任委員)

講座番号⑥ 「四国の地震災害史 -過去の南海地震を知る-」 令和元年度後期延期分
日 時:9月26日(土)
講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)

古文書講座 13:30~15:00

講座番号① 「宇和島藩士吉見家文書を読む②」 令和元年度後期延期分
日 時:8月9日(日)
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)

講座番号② 「宇和島藩士吉見家文書を読む③」
日 時:9月20日(日)
講 師:安永 純子(当館専門学芸員)

民俗講座 13:30~15:00

講座番号② 「愛媛が誇る伝統芸能 文楽・人形浄瑠璃の保存と継承」
日 時:8月23日(日)
講 師:岡崎 均氏(大阪体育大学教授)

考古講座 13:30~15:00

講座番号① テーマ展関連講座
「四国最古級の旧石器時代の遺跡調査と課題
-伊予市高見I遺跡調査を中心に-」
日 時:8月1日(土)
講 師:沖野 美氏((公財)愛媛県埋蔵文化財センター)

講座番号② テーマ展関連講座
「赤い旧石器を求めて -肱川流域の踏査成果-」
日 時:9月5日(土)
講 師:沖野 新一氏(愛媛考古学協会会員)

申込方法

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前までにハガキなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。

お問い合わせ

企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161

重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響等により、年間スケジュールを大きく変更いたします。ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 特別展「かこさとし絵本展～未来を生きる子どもたちへのメッセージ～」
→会期の変更 5月12日(火)～8月31日(月)
- 特別展「ふわふわシナモロール展」
→7月11日(土)～8月31日(月)に開催予定でしたが、中止することになりました。

ご利用案内

■開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
■観覧料

	区分	一般	団体(2割引)
常設展・テーマ展	大人(高校生以上)	520円	420円
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	270円	220円
新常設展		観覧無料	

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2020.7-9

7月		8月		9月										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4								
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	30

■休館日 ★イベント

愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営: 指定管理者 いよてつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話: 0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 令和2年6月15日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

夏休みは毎日開館しています!



展示スケジュール

2020.7-2021.3

年	月	展示内容
2020	7	特別展 「かこさとし絵本展 ~未来を生きる子どもたちへのメッセージ~」
	8	~8月31日(月)
	9	特別展 「戦国乱世の伊予と城 -国史跡 能島城・湯築城・河後森城の世界-」
2021	10	9月19日(土)~11月23日(月・祝)
	11	▶開館記念日イベント 11月15日(日)
2021	12	▶新春イベント2021 令和3年1月2日(土)・3日(日)
	1	
	2	特別展 「明石寺と四国遍路(仮)」
2021	3	令和3年2月13日(土)~4月7日(水)
		※今後の状況によってはイベント内容を変更、中止する場合がございます。

常設展 えひめの歴史と文化
新常設展 密・空と海 -内海清美展

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News



かこさとし絵本展

~未来を生きる子どもたちへのメッセージ~

令和2年
5月12日(火)・8月31日(月)

休館日 5月18日(日)・25日(日)
6月2日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)~24(水)・29日(日)
7月7日(火)・13日(火)・20日(火)

会場 愛媛県歴史文化博物館 企画展示室

観覧料 大人(高校生以上) ...700円(1,000円)
65歳以上 350円(500円)
小中学生 350円(350円)
※()内はセット券(常設展+特別展)の観覧料です。

主催 愛媛県歴史文化博物館

特別協力 加古総合研究所

後援 愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山拠点放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいは

協力 偕成社・小峰書店・瑞雲舎・農山漁村文化協会・白泉社・福音館書店・復刊ドットコム・文藝春秋

歴史

せんじか 戦時下における女学生の日誌

年代：昭和15～16(1940～41)年
 法量：15cm×20cm
 所蔵：当館蔵



この資料は、愛媛県立松山高等女学校(現松山南高等学校)の4年生(16歳)であった松澤和子さんが、昭和15～16(1940～41)年にかけて記した冬休みの日誌です。

昭和12年に始まった日中戦争の拡大化と長期化により、人手不足が深刻となりました。そこで、翌年学校ごとに勤労報国隊が結成され、夏休みや冬休みの長期休暇を利用して勤労作業に従事しました。同校の場合、夏休みに5日、冬休みに2日程度、学校や寺社の清掃、営所(堀之内の駐屯地)での被服修理や仕分けなどを行いました。この日誌にも、昭和15年12月26日に陸軍病院、翌年1月7日に校内の清掃を行ったことが記されています。また、お正月の様子について、「新体制で門松も少さいし、名刺や年賀状の廃止で、何だかお正月らしくないお正月だった」と記されており、日常生活の中に戦時統制が忍び寄り様子がうかがえます。

この日誌は、新学期に表紙をつけて学校へ提出されました。別の日記には、昭和16年1月8日の記事として「冬休日記の表紙を描いた。水色の画用紙に濃い桃色で字を描き、三色の小花を散って紅白のリボンでむすび、可愛い表紙にした」とあります。文中の「冬休日記」とは本資料のことと思われるが、暗い戦時下の中で、女学生が精一杯描いたオシャレ心が感じられます。この後、政府の指示を受けて、女学校の中にも隊組織の学校報国隊が結成され、太平洋戦争が始まります。それとともに、少年・少女をとりまく状況も一層厳しさを増していきます。

(専門学芸員 平井 誠)

※本資料は秋に予定しているテーマ展「戦時下の少年・少女たち」(会期:9月12日～10月25日)で展示します。

歴史

いよ あんない 伊予かすり案内

年代：明治43(1910)年
 法量：15.3cm×11.4cm
 所蔵：当館蔵

本資料は、松山市紙屋町にあった伊豫織物改良同業組合が明治43(1910)年に発行した広告用の冊子で、江戸時代、鍵谷カナが創始したという伊予紉の起源をはじめ、組合の沿革や組合員などの氏名が掲載されています。本文には生産量が年に約200万反、生産額が300万円と具体的な数字をあげ、生産高は全国第一位を占めるとあるなど、最盛期を迎えつつある伊予紉の様子が記されています。

製造販売者や卸商の名前、製品の種類、喜安式紉糸絞器や伊村式糸経機といった最新の製造用具など、伊予紉の情報に加え、松山市三番町のきどや旅館、紀州旅館、魚町の佐々木旅館、旅館高知屋など、旅館の広告もあります。広告のうちきどや(城戸屋)旅館は、夏目金之助(のちの夏目漱石)が松山中学の英語教師として赴任した際に宿泊したことで知られます。また、松山城、石手寺、石手川の岩堰など松山周辺の名所旧跡が写真入りで紹介されています。当時紉の販路は全国に及んでおり、得意先、新たな取引先、買い付けなどで来た関係者の為に、旅館や名所旧跡の案内が組み込まれたものと思われます。

本資料には多くの広告が掲載されており、組合員等からの広告掲載料で刊行されたことがわかります。「進呈」とあるので大量に印刷され、紉関係者や顧客に無料配布されていたのでしょう。同業組合としては、更なる伊予紉の浸透・普及を目指し、本書を製作したのと考えられますが、明治後期における伊予紉の活況や松山の様子を知る上で貴重な資料といえます。

(専門学芸員 安藤 久美子)



特別展

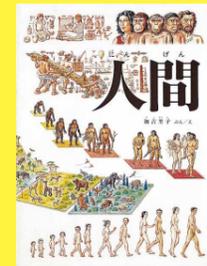
「かこさとし絵本展」開催中! 8月31日月まで



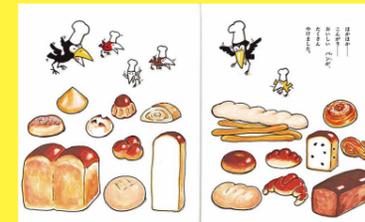
「だるまちゃん と てんぐちゃん」(福音館書店、1967年)



「こどもの行事 しぜんと生活 1月のまき」(小峰書店、2011年)



「人間」(福音館書店、1995年)



「からすのパンやさん」(偕成社、1973年)

2018年、惜しまれつつこの世を去った絵本作家のかこさとし(1926-2018)。国民的な絵本作家として子どもたちの心を捉えて離さない数々の絵本を生み出してきました。600冊を超える著作の題材は、身近な自然、宇宙、歴史、健康、伝承遊びにいたるまで多岐にわたります。今回の展示では、『だるまちゃん と てんぐちゃん』(福音館書店)、『からすのパンやさん』(偕成社)、『どろぼうがっこう』(偕成社)をはじめ、『かこさとし こどもの行事 しぜんと生活』(小峰書店)、『人間』(福音館書店)、『ならの大仏さま』(復刊ドットコム)などの複製原画約100点を中心にかこさとしの生涯、業績を紹介します。子どもたちの心に寄り添い、その未来を全力で後押しするかこさとしの絵本の世界をぜひ、お楽しみください。

なお、本展は当初4月25日(土)から6月21日(日)の会期を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月12日(火)から8月31日(月)に会期が変更となりました。最新の開館状況につきましては当館ホームページをご確認ください。

※テーマ展「よろいかぶと」、テーマ展「宇和島藩の測量図」も5月12日(火)～8月31日(月)までの会期に変更しております。

れきはく の あしあと

#おうちで歴博

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策が取られる中、当館も4/18～5/11の間は臨時休館の対応をとることになりました。家にいながら、少しでも歴博を身近に感じていただきたく、博物館Instagramと学芸員ブログ内で「おうちで歴博」と題して、収蔵品「中国四国名所旧跡図」の紹介記事をほぼ毎日、更新しておりました。

「中国四国名所旧跡図」

江戸時代の仏絵師西丈が四国遍路をしながらかいた風景画の記録です。札所の寺社をはじめ、弘法大師ゆかりの旧跡、遍路の難所などが描かれており、江戸時代後期の四国の姿をリアルにとらえた面白い資料です。まだ見ていないという方は是非チェックしてみてください!

館内の感染症対策について

- ・ 職員のマスク着用。
- ・ 総合案内、レストラン、特別展受付には飛沫防止シートを設置。
- ・ 金銭の授受はトレーを介して行います。
- ・ 各所に手指消毒液の設置。
- ・ 来館者エリアの消毒・清掃の強化。



ご来館の皆さまへのお願い



体温をはかる



咳エチケット



手を洗う



消毒する



人とはなれる



作品、展示ケース、壁に触らない

また、混雑時には観覧人数を制限させていただく場合もございます。1日も早く通常の開館ができるよう、皆様のご協力をお願いいたします。



HPからInstagram、学芸員ブログにアクセスできます。

